環境

物流での環境保全にかかわる取り組みを紹介します。

物流工程における取り組み

カシオでは、物流工程で発生する CO_2 排出量の削減や廃棄物の削減など、環境負荷の低減に積極的に取り組んでいます。

CO_2 排出量の削減においては、以下の３つの行動計画を掲げ、推進しています。

・**輸送距離の短縮**：国内外で物流拠点からお取引先への直送を推進

・**モーダルシフトの推進**：拠点間の輸送に環境負荷の少ない鉄道などを積極的に利用

・**積載効率改善、輸送物量削減**：デジタルカメラ、電子辞書、楽器、ECR などの梱包設計の改善、縮小化推進

取り組み事例紹介

「エコレールマーク」の認定を取得

カシオは、2009 年 10 月 29 日、社団法人鉄道貨物協会より、「エコレールマーク取り組み企業」としての認定を取得しました。

「エコレールマーク」は、鉄道貨物輸送を活用し、地球環境問題に積極的に取り組んでいる商品・企業である事を表示するマークで、鉄道は CO_2 排出量が営業用トラックの約 1/7 と、環境にかける負荷の小さい輸送手段です。

当社では、三重県にある流通センターから北海道および東京にある配送センターへの輸送に鉄道を積極的に使用しています。

今後も環境に配慮した輸送を推進し、環境負荷の低減に積極的に取り組んでいきます。

エコレールマーク

鉄道を利用したモーダルシフトの推進

環境にやさしい鉄道コンテナ

アジア物流で「通い箱」の導入

包装材削減のため、カシオはアジア内の物流で「通い箱」の導入を進めています。

日本、香港、タイ３カ国間の航空輸送において、繰り返し使用ができるプラスチック容器の「通い箱」へ切り替える試みで、2009 年９月から本格的な導入を開始しています。

「通い箱」では、日本で製造した部品を中国の生産拠点用に香港へ運び、香港からは中国のベンダーから調達した時計用部品などをタイに輸送。タイから日本へ時計の完成品や部品などを運ぶ事で、３カ国間すべての経路で空箱となる事はありません。

従来の段ボールとは異なり、使い捨てをせずに何度も使用できるため、環境負荷の低減につながります。

アジア物流で使用される通い箱

梱包縮小化の推進

カシオでは、梱包サイズの見直しにより、CO_2 排出量の削減を積極的に推進しています。

物流の視点から、物流費および CO_2 排出量の削減効果を、関連部門に働きかける事により、さまざまな品目の梱包縮小化を推進しています。

第 1 段階として、単純な梱包箱サイズの見直し、第 2 段階で同梱物の見直しと、継続的な見直しを進めています。

2009 年度は、電子辞書、楽器、ECR、携帯電話などの見直しにより、約 150 百万円のコスト削減および約 2,300 トンの CO_2 削減ができました。

■梱包サイズの縮小化の推移

航空輸送から海上輸送への切り替え推進

カシオでは、営業部門、生産部門、物流部門が一体となって、今まで航空輸送が中心だった品目の海上輸送への一部切り替えを推進しています。

これにより半期約 100 百万円のコスト削減と約 6,000 トンの CO_2 削減が可能になります。

※物流における CO_2 排出量および売上高原単位の推移についてはパフォーマンスのページ（P92）をご覧ください。